

2(土)
13:00-15:00



貝がらひな人形を作ろう

もうすぐひなまつり。浜辺で貝がらを拾ったら、可愛いひな人形を作ろう。女の子はもちろん、男の子も大歓迎!

要事前応募 | 料金 400 円 / セット
対象 どなたでも (小学校3年生以下は保護者同伴)
定員 30 名 | 会場 観察コーナ

3(日)
13:00-14:30

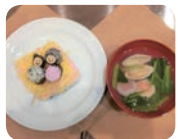


生きもののしくみを知ろう 貝がら

ホンビノスガイなどを使って2枚の貝がらが組み合っているしくみを調べ、試食したり、オリジナル貝合わせを作ったりして遊びます。美味しく・楽しく・発見しよう!

要事前応募 | 料金 300 円 / セット
対象 5 歳以上 (小学校3年生以下は保護者同伴)
定員 24 名 | 会場 キッチンスタジオ

9(土)
11:00-13:00



海の恵みを味わおう 親子で楽しく祭り寿司を作ろう

千葉伝統の「祭り寿司」を親子で協力して作ります。講師は千葉伝統郷土料理研究会の峰岸先生。桃の花を模した華やかな巻き寿司にみんなで挑戦。

要事前応募 | 料金 利用料* + 800 円
対象 小学生以上 (小学校4年生以下は保護者同伴)
定員 20 組 | 会場 キッチンスタジオ

10(日)
10:00-12:00



飛ノ台史跡公園博物館コラボ 縄文土器で縄文汁を作ろう

縄文人はどんなものを食べていたのか? 縄文時代の食材を想定し、土器や黒曜石の包丁を使って調理しよう。飛ノ台史跡公園博物館との共同企画です。

要事前応募 | 料金 利用料* + 400 円
対象 小学生以上 (小学校4年生以下は保護者同伴)
定員 20 組 | 会場 ふなばし海浜公園バーベキュー場

21(木祝)
10:00-12:00



三番瀬探検隊 干潟の生きものを探そう

ふなばし三番瀬海浜公園前の干潟にくらしているカニや貝などを観察しよう! スコップ片手に帽子をかぶって、レッツ生きもの探し!

要事前応募 | 料金 利用料*のみ
対象 どなたでも (小学校4年生以下は保護者同伴)
定員 50 名 | 会場 三番瀬干潟

23(土)
18:30-20:20



天体観望会 星と潮騒の夕べ

三番瀬から見られる星や星座などの紹介。波の音に耳を傾けながら、美しい星空をお楽しみください!
☆3月は冬の三大星と春の星々を観測します。

要事前応募 | 料金 100 円 / 人
対象 小学生以上 (中学生以下は保護者同伴)
定員 20 名 | 会場 展望デッキ

24(日)
13:00-16:00



三番瀬探検隊 ♪鳥くんと野鳥を探そう

プロバードウォッチャー「♪鳥くん」がガイドをつとめる野鳥観察会です。季節ごとに様々な鳥達と出会うことができ、楽しく学べるイベントです。

要事前応募 | 料金 300 円 / 人 中学生以下無料
対象 どなたでも (中学生以下は保護者同伴)
定員 30 名 | 会場 三番瀬干潟

30(土)
① 10:00-11:45
② 13:00-14:45



野菜スタンプでランチマット作り

野菜のはしっこを使ったスタンプをおして、自分だけのランチマット作りをしよう。小松菜のスタンプはバラの形...? 一緒に野菜の観察もしちゃおう。

(各回 30 分前から整理券配布)
当日受付 | 料金 利用料* + 200 円 / セット
対象 どなたでも (小学校4年生以下は保護者同伴)
定員 各回先着13セット | 会場 キッチンスタジオ

春の特別展

なりきり三番瀬 2019.3.16(Sat) - 4.7(Sun)

にげろ! かくれろ! つかまえろ!

関連ワークショップ

当日受付

対象 どなたでも (小学校4年生以下は保護者同伴)

特別展開催期間中の土曜日・日曜日
10:00-12:00, 13:00-15:00



かくれる? 生きもの砂時計

手のひらサイズのすてきなプレート型砂時計をつくらう! 砂の中には、どんな生きものがかくれているかな? カラフルに色をぬってつくえにかざってね☆

料金 500 円 / セット
定員 無くなり次第終了
会場 エントランス

31(日)

① 10:00-10:30
② 11:00-11:30
③ 13:00-13:30
④ 14:00-14:30



ヤドカリタルトを作ろう!

カラフルなお菓子を使ってヤドカリ型のミニタルトを作って食べよう! 学習館内でヤドカリ観察もできるよ!
(各回 30 分前から整理券配布)

料金 利用料 + 300 円 / セット
定員 各回先着18セット
会場 キッチンスタジオ

[応募 締 切] 開催日の1週間前 17:00

[お申し込み先] Web : 申し込みフォーム

Mail : ws@sambanze.jp

Tel : 047-435-7711



申し込みフォーム

- 応募多数の場合は抽選 (結果は当落に関わらず連絡)。締め切り日を過ぎても空きがある場合は延長します。
- ワークショップ名、参加日、参加者・同伴者全員のお名前、ご用意するセット数、学年、住所、電話番号 (昼間に連絡の取れる番号) をお知らせください。
- メールでご応募の方は、左記アドレスのメールが受信可能な設定にしてください。
- キャンセルの場合は必ず事前にご連絡ください。無断でのキャンセルが続きますと次回からのご参加をお断りさせていただきます。

※【常設展利用料】一般 400 円 / 高校生・大学生 200 円 / 小学生・中学生 100 円 (船橋市内在住・在学の小・中学生、未就学児、障害者とその介助者 1 名 無料)

さばかん つうしん

さんばんぜかんきょうがくしゅうかん



ふなばし三番瀬環境学習館、
ふなばし三番瀬海浜公園から、
毎月情報やメッセージをたくさん
掲載している「さばかん通信」。
ぜひ活用ください。

3月

今月のテーマ 小さな生きものたちの“スゴ技”

春の特別展「なりきり三番瀬2 にげろ! かくれろ! つかまえろ!」では、三番瀬干潟でおなじみの生きものの「食べられないで食べる」ための“スゴ技”を楽しく体験することができます。ここでは、展示で紹介しきれなかったプランクトンの“スゴ技”? をご紹介します。

「食べる食べられる」の関係

私達生きものは、栄養などのエネルギーを得ないと生きていきません。植物や植物プランクトンなどは自分で栄養を作れますが(光合成)、貝や鳥などは自分では栄養を作れないので、エサから栄養をとっています。例えば、アサリは植物プランクトンをエサとしています。三番瀬でよく見かけるスズガモという鳥は、アサリなどの貝をよく食べているようです。このように、生きものは他の生きものを食べ、また別の生きものに食べられます。この「食べる食べられる」の関係は、1:1ではなく複雑につながっています。



プランクトンの“スゴ技”?

海の生きものたちの「食べる食べられる」は、海水中の植物プランクトンから始まります。三番瀬でも普通に見られるウズベンモウソウ類は、「鞭毛」と呼ばれる毛をもち、他の植物プランクトンとは異なり泳ぐように移動することができます。そのなかには、昼は水面近くにいますが、夜になると鞭毛を使って深いところに移動する(日周鉛直移動)ものがあります。昼は日光があるところでせっせと栄養を作り(光合成)、夜は栄養の素(窒素、リンなど)が多く溶けている深いところでそれらをどんどん取り込んでいるのです。鞭毛をもたない他の植物プランクトンにはできない“スゴ技”です。

植物プランクトンを主なエサとするものに、動物プランクトンのカイアシ類があります。そしてこのなかには、先ほどとは逆に、昼は深いところにいて、夜、水面近くに上がるものがあります。目でエサを探す魚などに食べられないよう、暗くなってから水面近くに泳いで移動し植物プランクトンを食べるのではないかと考えられています。食べられないで食べるためには“技”だけではなく“戦略”も必要なのかもしれませんね。(平野)



野鳥インフォメーション

20年前には極少数しか渡来せず珍鳥扱いでしたが、次第に数が増え、今年は400羽を超えるまでになりました。三番瀬が、国内最大の越冬地で、名物となっています。(大谷)



記事を書いた人 平野

